「ＮＰＯ」ワンポイント・アドバイス

～必要な情報を効果的に収集するコツ～

ＮＰＯは地域の課題を解決し理想的な街にしていくことが大きな使命です。しかし世の中は様々な情報にあふれていて、本当に必要な地域の課題や悩み等の情報を効果的に集めることが難しくなっています。
そこで今回は、必要な情報を効果的に呼び込むコツをお伝えします。

準備：まずはじめに、次の２点をしっかりと把握してください。
① 集めたい情報は何か？
② どんな課題を解決するために集めるのか？
これを、どこかにメモしておきましょう！これで準備完了です。

❶ 意識するものを決めて「見る」

ただ漠然と街を歩いていても「見えている」だけです。これを「見る」に代えることが必要です。そのためには、意識するものを決めて見てみましょう。意識するものは、赤とか緑のような色、丸や四角等の形や位置等、何でも大丈夫です。臭いや手触りという感覚もありです。注目する視点をいつもと変えることで、発見の幅が広がります。無理に課題そのものと直結させる必要はありません。
いつも通る道やデパートの中、色んな所で試してみましょう。

❷ 演じてみる

自分とは全く立場の違う人になったつもりで、まちを見、歩いてみましょう。
性別や年齢、国籍、立場等を変えた視点で見ることで、今まで気が付かなかった情報が入ってくるようになります。

❸ 記者になってみる

誰かにお話しを聞きに行っても、必要な情報を聞き出せないで終わってしまうことがあります。そこで、自分が新聞記者になったつもりで何でも聞いてみることをお勧めします。素人っぽい質問かもしれないと自己規制してしまわないで、しつこく聞き出すことがポイントです。話を聞けば聞くほど、芋ずる式に質問が出てくるようになります。

相談希望の方は、まちセンへ　まちづくりセンターでは、もっと具体的な「必要な情報を効果的に収集するコツ」についての相談も受付けています。お気軽にご相談ください。

参考資料：加藤昌治著『考具』（阪急コミュニケーションズ）

センター長のつぶやき

丸藤 競

まちづくりセンターでは、今年の“活動めあて”と“合言葉”を設けました。“めあて”は「毎日、笑ってもらいたい。」そして合言葉は、「たくさん、恋をしよう！」です。

「毎日、笑ってもらいたい。」という言葉は、『サザエさん』の作者である長谷川町子さんの言葉。私たちの活動で最も大切な役割は、地域の課題を解決し理想的な街にすることです。地域が理想の街になったら、今よりもっと笑顔が多くなるはず。函館を良い街にしてたくさんの笑顔を発信していきたい、という思いが込められています。

「たくさん、恋をしよう！」は、何か一つのことに思いを深くすることも大切だけど、もっと視野を広くし新しいことにチャレンジしたり、好奇心をもって学んでいくことも必要だという思いで決めました。さらに、まちづくりセンターを本格的なコミュニティデザインセンターにするために、人と人が交わる機会である『人“交”密度』を高くしていきたい、という思いも込めています。

まちセンからたくさんの「笑い」と「恋」が羽ばたくよう、オープン７年目も元気にやっていきます！